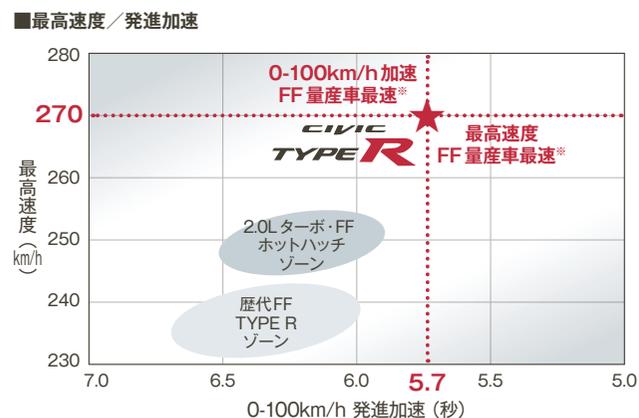


TYPE R ならではのピュアスポーツの走り、FF量産車最速の圧倒的な走り。

FF量産車最速のポテンシャルを備えるとともに、日常走行も存分に楽しめる懐の深い動力性能。

目指したのは、FF量産車最速のポテンシャルを備えること。そのうえで、街中や高速道路、ワインディングでも、サーキットに持ち込んでも、スポーツ性能を存分に楽しめること。シビックTYPE Rは、最高速度270km/h、0-100km/h加速5.7秒の圧倒的パフォーマンスを発揮しながら、同時に、歴代TYPE Rがそうであったように日常走行でもFUNな走りを味わえる、新世代のピュアスポーツに進化しました。

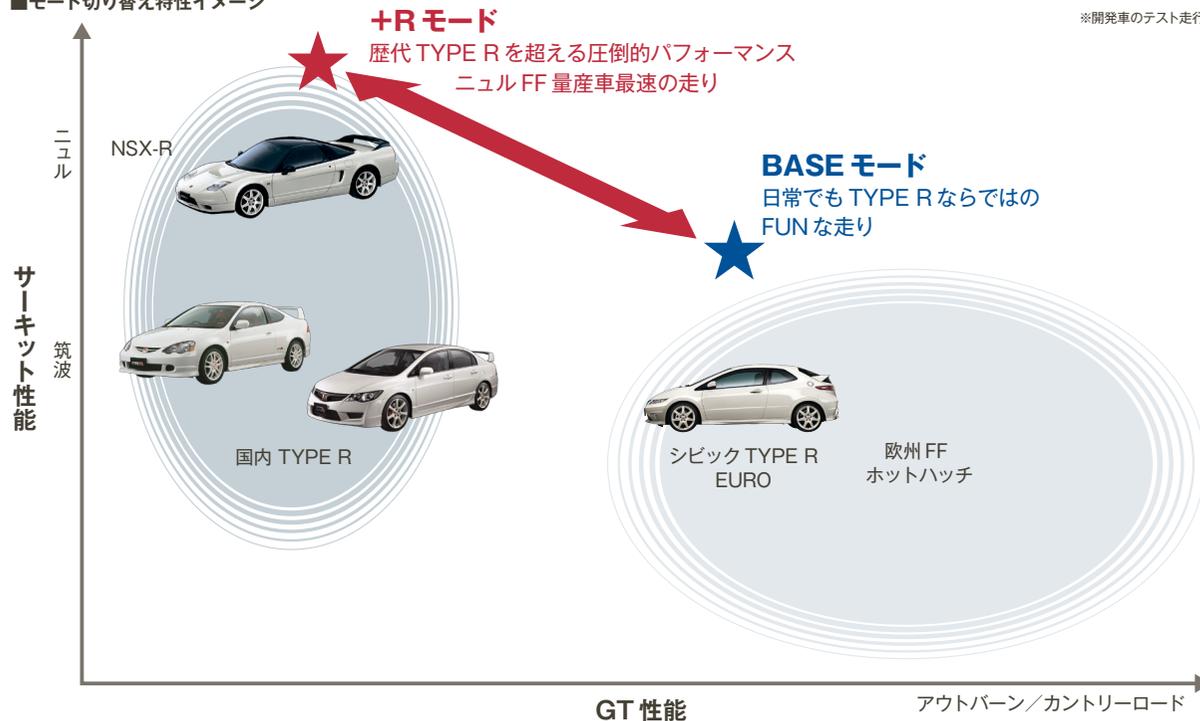


走りの特性をシーンで使い分けて楽しめる、BASEモード/+Rモード。

日常の走りの中でピュアスポーツを楽しめるTYPE R本来の走りを「BASEモード」として設定したうえで、さらにサーキットでのFF量産車最速の走りを引き出せるよう「+Rモード」を設定。エンジントルク特性やレスポンス、ダンパーの減衰特性、EPSのステアリングフィール、VSAのTCS介入タイミングなどを切り替えることで、「BASEモード」では軽快で俊敏かつ安心感の高い走りを実現。「+Rモード」ではハイレスポンスな加速と手応えのあるハンドリング、限界までのコントロール領域を広げた走りを可能にしています。



■モード切り替え特性イメージ



■モード切り替えの考え方

| 項目 | +Rモード | BASEモード |
|---------------------------|-----------------------------|-----------------------|
| 加速感 (エンジン特性) | ハイレスポンスな加速性能 | 扱いやすいコントロール性 |
| 操安・乗心地 (アダプティブ・ダンパー・システム) | サーキットベストセッティングタイヤ性能を使い切る接地性 | 一般路ベストセッティング |
| ハンドリング (EPS) | サーキットを攻めるためのリニアリティーとしっかり感 | 軽快でキレイのあるハンドリング |
| VSA (TCS) | 運動性能重視で非介入領域拡大 | 舵の軽快感 ハイパワーに耐える安心感 |

■モードによる性能の狙い

